

授業づくりのポイント シリーズ③

～「めあて（見通し）」と「振り返り」で主体的な学びをつくる～

児童生徒が主体的に学ぶ授業づくりにおいて、「見通し」と「振り返り」は重要な学習活動です。

＜「中央教育審議会 答申」から＞

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、以下の視点に立った授業改善を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現し、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的（アクティブ）に学び続けることが求められています。

- | |
|--|
| ○学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているか。 「主体的な学び」 |
| ○子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているか。 「対話的な学び」 |
| ○習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているか。 「深い学び」 |

特に、「主体的な学び」については、①子供自身が興味を持って積極的に取り組むとともに、②学習活動を自ら振り返り意味付けたり、身に付いた資質・能力を自覚したり、共有したりすることが重要である。と述べられています。

①は、1単位時間の授業では、「見通し（めあて）」をしっかり持つことであり、②は、「振り返り（まとめを含む）」に当たると考えられます。

＜「学習指導要領解説総則編」から＞

「学習指導要領解説総則編」では、「各教科の指導に当たっては、児童が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れるように工夫すること」とあります。

児童生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れ、自主的に学ぶ態度をはぐくむことは、学習意欲を向上させることにつながります。また、事前に見通しを立てたり、事後に振り返ったりすることで学習内容の確実な定着が図られ、思考力・判断力・表現力の育成にもつながります。

＜「新大分スタンダード」から＞

「新大分スタンダード」では、「振り返り」は、教師が児童生徒の学びを見取るだけでなく、本時の学びを振り返らせ自覚させたり、1時間の学習の意義を価値付けたりするものとして位置付けられています。

「めあて」に即した「振り返り」を行うためには、単にがんばったことや活動の感想を書かせるだけではなく、「めあて」の達成状況等について、自ら「振り返り」をする必要があります。自己評価や新しく気付いたこと、学んだことを活かして次の時間に取り組んでみたいこと等について、児童生徒が学んだことを活用して書く場を保障することが大切です。

よくあるエラー例です。参照して、板書計画や学習指導案の見直しに活用してください。

【エラー例】

「めあて」が大きく位置づけられているため、学習活動への見通しが明確でないもの

①（小学校第3学年 国語科）

②（中学校第1学年 国語科）

文章を読んで、生き物の特徴を調べよう

文章を読んで、要旨にまとめよう

①の代案

②の代案

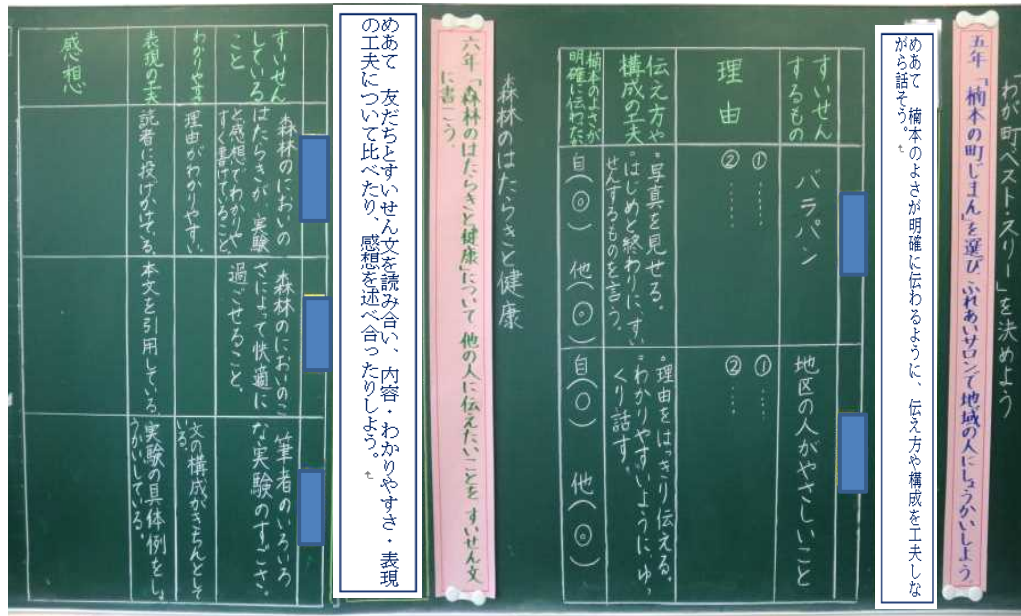
生き物の特徴を、「体のつくり」や「食べ物のとり方」等から調べて、生き物のびっくりを紹介するためのワークシートにまとめよう

文章の構成を「序論」「本論」「結論」でとらえ、要旨をまとめよう

次に示す好事例から、よりよい「めあて」の設定を考えてみましょう。

【学ぶべき好事例 その1】 ※複式学級

「めあて」に「伝え方」「構成の工夫」「わかりやすさ」等の視点が明確に位置付けられているため、具体的に学習することができ、さらに、「振り返り」もこの視点に基づいて行うことができます。



- 振り返りをする (7)
- 話し合った内容や感想を出し合う (10)
- ペアで6年生の推薦文を読み合い、話し合いながらシートに
- 5年生が「楠本の町じまん」を話し、聞き手はシートに書き、発表する (15分)

【学ぶべき好事例 その2】

「めあて」のなかに「3つの変域に分ける」「表や式、グラフを用いて」等の見通しが表示されているため、1単位時間で取り組む学習活動が具体的に明確になっています。

数学科 「板書計画」

課題

点PがAからx cm動いたときの△PADの面積をy cm²として、△APDの面積がどのように変化するか、調べよう。

△PADの面積の変化のようすを、3つの変域に分け、表や式、グラフを用いて調べよう。

(1) 点Pが辺AB上にあるとき、

| | | | | | | |
|----------------------|---|---|---|----|----|----|
| x(秒) | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 面積(cm ²) | 0 | 4 | 8 | 12 | 16 | 20 |

(xの変域) $0 \leq x \leq 5$
(式) $y = 4x$
☆底辺が8 cm、高さx cmであることを押さえる。

(2) 点Pが辺BC上にあるとき、

| | | | | | | | | |
|----------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| x(秒) | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 面積(cm ²) | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 | 20 |

(xの変域) $5 \leq x \leq 13$
(式) $y = 20$
☆底辺が8 cm、高さが常に5 cmであることを押さえる。

(3) 点Pが辺CD上にあるとき、

| | | | | | | |
|----------------------|----|----|----|----|----|----|
| x(秒) | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 面積(cm ²) | 20 | 16 | 12 | 8 | 4 | 0 |

(xの変域) $13 \leq x \leq 18$
(式) $y = 4(18-x)$
☆底辺が8 cm、高さが $(18-x)$ であることを押さえる。

まとめ

△PADの面積は、時間に対して、5秒後までは比例の関係。その後13秒後までは、一定であり、それから18秒までは1次関数となる。

ふりかえり

点移動して変化する面積の問題は、変域に着目して、式とグラフを表すと説明しやすい。

指導方法、学習活動など

- 問題の提示 5(分)
- 本時の課題をつかむ 5(分)
- 自力解決 1(分)
- グループで交流 10(分)
- 全体交流 10(分)
- まとめ 5(分)
- 練習問題を解く 5(分)